

町田市議会議員・若者育成の街

吉田つとむ

支持政党なし・市議会「保守の会」で活動

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-2
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



インターンシップ好評

明石市の少子化対策（税増収を生む根拠）

全世代から支持を受けるわけではないと広言

清溪セミナーの講義 I「少子化対策～自治体からの検証」（講師：泉 房穂氏：明石市長）を聞きました。市が計画する道路の拡幅工事が進まないことで、「その建物に火をつけてこい」と言う暴言で全国にも有名になった人物が、明石市の泉 房穂市長です。辞職した後、再度の選挙で圧倒的な支持を受けて再選しています。市政の施策では、今回の講演テーマである、少子化対策、子育て支援が有名です。そうした積極的な推進施策があり、共感を持たれて3期目当選に至っているのでしょう。



明石市は、神戸市の西側に隣接する人口30万人規模の都市で、東経135度の子午線上に天文館があり、明石海峡大橋や食べ物では明石のタコが有名です。

8年連続で人口が増加し、出生率も1.70（全国平均1.36、兵庫県1.41）を誇りにしています。人口の年齢分布では、25-60歳未満が高い比率で増加し、15-20歳未満と50-60歳未満で人口減少を示しているのも特徴だと思います。そうした点を町田市との比較で調べることが必要だと思いました。

泉市長が推進：人口・出生率増

所得制限を排した施策導入で中間層の流入増

子育て支援策は、世帯の所得に関係なく支出され、第2子、第3子があってもそれを育てやすい施策を取り込み、いわゆる「中間層」を取り込む政策導入を特徴にしているとのことでした。それが、出生率のアップにつながっているのでしょう。

今回の新型コロナ対策でも、子育て世代に1万円上乘せ、高校進学奨学金給付型30万円、未就学児に絵本の宅配便、ひとり親家庭に児童扶養手当5万円上乘せ、赤ちゃん応援給付金10万円、こどもの養育立替5万円、テイクアウト・デリバリーこども食堂（1回2万円を領収書なしで支援）を導入しています。もちろん、この中には、町田市も導入したものもありますが、子育て支援策では、所得制限を設けていない特徴があり、中間層の流入も生じています。それが、市民税、固定資産税、都市計画税の増収につながっているようです。

明石市の恒常的な政策では、平成30年に中核市になり、児童相談所設置市となっています。私は以前から、この双方を町田市が持つことを本会議の一般質問で求めています。町田市は、この二つの機能を自前で持つ考えを示していない点で大きな差異があります。



◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-2
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



FAX: 042-795-2726

政務活動費の裁判で補助参加人に決定

町田市議会の政務活動費支出に関して、住民訴訟があり、町田市長宛に裁判が行われています。そもそも政務活動費は、法律や条例などで定めるものであり、議会では公開した会議の議論においてその用途も厳格に規定しています。さらに、時代状況に即して改定を重ねてきました。よって、支出行為自体が不当や不法と言われることはないと思っています。

そこで、今回の住民訴訟で問題とされる点は、支出の中に、見落としなどの容認されない支出がある、あるいは町田市議会が他の自治体に照らして策定したルールが適正でなく、減額されて支出すべきであるという論点を立てているのではないかと推測しました。この裁判と言うのは、原告が町田市長を訴えるものであり、会派やその参加議員は間接的な関係とも見ることができそうですが、当事者となり得る可能性があると考えました。そこで、裁判中にその真実を議員自らが明らかにしておかないと、町田市の主張が通らない場合、会派や関係議員がその責任を負い、その負担を求められることとなりますので、自分の見解を裁判中に主張・説明することが欠かせないことだと考えました。

この種の住民訴訟裁判では、当事者議員は自身で裁判資料（訴状）の内容を見ることも難しく、最近までその内容を全く知りませんでした。そこで、自前で依頼した弁護士を通じて、訴状内容をコピーで受け取りました。裁判所で訴状をコピーするには、その事務手続きを依頼して、受け取るようになっていました。街中のコンビニで自分がコピーする

感覚（1枚10円）とは異なり、裁判所サイドが原本からコピー（非常に割高です。1枚100円近い単価！この種の裁判では資料が多く、千枚を超す単位になります）を取り、それが弁護士に渡され、更に、弁護士事務所でコピーしたものを受け取る次第になりました。



さて、町田市が訴えられた政務活動費の用途内容に関する住民訴訟において、その訴状を一べつただけで、議員個人が当事者になり得るものと思いき、裁判所で意見を主張する目的で「補助参加人」となるため、本年9月に訴訟代理人弁護士を通じて、補助参加申出を行いました。すると、意外にも、原告側が「異議申出」を行いました。町田市に敗訴判決があった場合、対象は「会派」になるもので、会派の構成する議員には及ばず、利害関係はないと主張してきました。

訴状を見ると、私を含めた議員の個々の氏名が記載されており、判決主文には記載がなくても、判決理由中の記載も含まれる等々の理由を上げ、議員個人が「補助参加人」となることの正当性を「反論書」として提出しました。裁判所は、吉田勉が「補助参加人」となることを正当と認める決定をしてくれました。今後、私が「補助参加人」として、裁判所で積極的に発言（文書を含む）できる機会が持てることになりました。

★支持政党なし・市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp/> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）



メール送信

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主意



ブログ HP
メールは
左記を読込
して送信

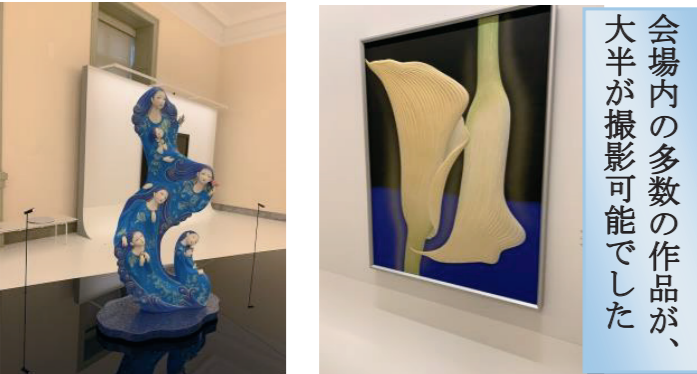


インターン生募集中

インターン体験記⑩星野ひとみ

今回の研修は、上野の東京国立博物館で行われている特別展「工芸 2020-自然と美のかたち」と旧岩崎邸を見学しました。

まず特別展では、自然の色(白や黒、赤、緑、青など)ごとに作品が分類され、様々な技法が用いられた作品が展示されていました。私達が何気なく見ている視界にも、様々な色が溢れていて、私達自身も自然の一部であることを感じました。また、作品制作に使われている技術について、歴史や作業方法、細かい分類などもそれぞれ紹介されていて、実際にその技術を使った作品を見ながら、美術知識も学ぶことができました。



会場内の多数の作品が、大半が撮影可能でした



午後は旧岩崎邸(三菱グループの老家)を見学しました。初めて行く場所で、重要文化財になっているとは知りませんでした。迎賓館的な役割を果たしていた洋館と、私的な生活空間であった和館では、かなり雰囲気が異なり、まさに和洋折衷の雰囲気でした。

旧岩崎邸の中で最も印象に残ったのは、洋館1階の婦人客室の天井のデザインです。豪華な花柄があしらわれていましたが、その模様が全て刺繍で作られているようで、途方もない手間と時間をかけて作られたのだろうと感じました。また、どの客室も全て部屋のデザインが異なり、面白く感じました。庭園の芝や植物は綺麗に整えられ、天候は生憎の雨でしたが、洋館・和館どちらからの眺めも美しく感じました。



昭和女子大3年生 星野ひとみ(第46期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施
★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員 **支持政党なし**

吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会
保守の会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

インターン体験記⑧-1 佐々木愛花梨

上野にある東京国立博物館では、ちょうど「表慶館」にて工芸品の特別展の開催中で、割と最近創られた数多くの作品を見ることができました。

工芸品のジャンルは幅広く、絵画から陶磁器、着物や人形などが展示されていました。中でも私が印象に残っているものは、鳥を現した作品です。この作品は、私のような芸術に関する知識の乏しい素人目で見ると中々鳥には見えず、芸術の難しさと奥深さを実感させられました。ジャンルや年代もバラバラのものが同じフロアに並べられているので、一度に様々な作品を見ることができるので飽きの来ない配置になっているなど感じました。



レポートの記事と掲載写真は別物です

展示されている作品の凄さは勿論ですが、建物自体の歴史ある風格と細部の細かなデザインにも驚かされました。大理石の柱や天井のデザインには思わず溜息がもれてしまうほどでした。

昭和女子大3年生 佐々木愛花梨(第46期生)

インターン体験記⑧ 日高彩貴

元インターン生で国会職員(参議院事務局職員=国家公務員)として務めている方とお会いし、就活についてのお話とアドバイスをいただきました。数年に一度、様々な部署に人事異動があり、現在は企画室に所属するという職務のお話は、商品開発に興味がある私にとってとても興味深いものであった。企画だけでなく、これから社会に関わっていく上で発想力が大切なのだと知った。また、面接に良い思い出がなかった私に、まずは第一印象が大切、笑顔の練習を鏡でやってみてとのアドバイスをいただいた。笑顔がとても素敵で、綺麗な姿勢を崩さない先輩研修生のようになりたいと思った。

その日は、参議院議長公邸を見学した。公邸では、議長執務室にて山東昭子議長(元女優・テレビタレント)と、その時しかチャンスが無かった、政治家への転身の経過をお話することができ、とても貴重な体験となった。山東議長(参議院当選8期・史上最長)のお話を聞いて、見聞を広め、多方面において知識を得ておくことの大切さを学んだ。



昭和女子大3年生 日高彩貴(第46期生)

●この市議会報告は、毎月ごとに2回(まれに3回)発行しています。その作成・配布費用は年に2-3回ほど政務活動費を使用することがありますが、それ以外は全て自費で発行しています。

電話 042-795-7361 FAX042-795-2726 G-mail:yoshidaben@gmail.com